

東九州自動車道の4車線化に係る知事コメント

本日、国土交通省の社会資本整備審議会道路分科会第49回国土幹線道路部会において、東九州自動車道「大分宮河内IC～臼杵IC間（約6.8km）」が、来年度に新たに着手する4車線化の候補箇所として審議されたとのこと。

県民の実感として、平成27年3月の県内全線開通以来、生活の道、命の道、そして地域活性化の道として、東九州自動車道が重要な役割を果たしていると感じており、4車線化が進めば、九州の東の玄関口としての拠点化がさらに進展するものと期待しています。

国土交通省、NEXCO 西日本のご高配に加え、これまで4車線化の早期事業着手を求めた要望活動や事業環境整備をともに取組んできた沿線自治体や経済界をはじめ、関係の皆様方に心より御礼申し上げます。

県といたしましては、引き続き暫定2車線区間の全線4車線化に向けて、全力で取組んでまいります。

令和3年3月10日
大分県知事 広瀬 勝貞